

2025 年度 宮城学院女子大学附属発達科学研究所第 1 回公開講演会

英語絵本で育む子どものウェルビーイング

講師 中村 麻里氏



日時：2025 年 9 月 27 日（土）10:00 ～ 12:00

会場：宮城学院女子大学講義館 2 階 C201

参加定員：対面（100 名）／ ZOOM（100 名）

申込方法：QR コードまたは FAX に、氏名、参加方法、
駐車場の有無をご記入の上お申込ください。

※テーマに関心のある方は、どなたでも参加できます。

※9/24（水）申込締切日。定員になり次第締切ます。

ZOOM アドレスは、開催日前日までにご連絡します。

※当日は、公共交通機関をご利用ください。事情により駐車場を希望される方は、事前に
駐車場をお申込ください。先着順とし、確保できない場合がありますことをご了承ください。



<https://forms.gle/x9BrzZnvi3xqFSAx9>

問合せ先

電話 / FAX：022-277-6210

E-mail: child@mgu.ac.jp

講師プロフィール

神戸在住 MELEP（麻里英語教育ポート）主宰
関西学院大学・甲南女子大学・非常勤講師
英国アストン大学 TEYL 修士課程修了。

30 年にわたり高レベルで常に満席の教室にて
幼児から成人を指導し、20 年連続でスピーチ
コンテスト等での優勝・入賞者を輩出。
教育委員会主催のスピーチ&暗唱コンテスト
などの審査員、ALT 対象のトレーナーを務める。
国立大学ではアカデミック・ライティング、プ
レゼンテーションを指導。
学会、大学、全国各地で理論に支えられた実用
的なセミナーを実施し、国際学会での司会、パ
ネリスト、通訳など多岐にわたる活躍をしている。

2019 年

JALT（全国語学教育学会）国際大会・基調講演

2013 年 2019 年

同学会の Best of JALT 賞受賞

主催：宮城学院女子大学附属発達科学研究所

後援：宮城県教育委員会 仙台市教育委員会

共催：宮城学院女子大学教育学部教育学科児童教育専攻

宮城学院女子大学学芸学部英語文化コミュニケーション学科 2026 年 4 月開設準備室

宮城学院女子大学附属発達科学研究所

宮城学院女子大学附属発達科学研究所は、子どもの発達と教育および福祉に関する学術的研究を推進し、21世紀の子どもたちの幸福の実現に寄与することを目的として設置されました。

その活動と研究成果は、公開シンポジウムや講演会、年1回発行の「宮城学院女子大学発達科学研紀要」などによって、広く公開されております。



研究所ホームページ

宮城学院女子大学には、英語教育を学べる学科が2つあります。

宮城学院女子大学教育学部 教育学科 児童教育専攻

● 初等教育を中心とした 中等教育（英語）・特別支援教育の学びの充実

取得を希望する免許に応じて、2年次より3コース（幼小コース、小特コース、小中コース）に分かれ科目を履修します。それぞれのコースで、希望に沿った深い学びを実現することができます。

小中コースでは英語教育（英語学）セミナーを実施しています。

● 理論と実践を活かした 教育者としての高い指導力の育成

教科教育法等の大学の授業を通じた理論的な学びだけでなく、学校臨床研究（2～4年次）では大学近隣の小学校に赴き、教員の補助としてかわり、学校の業務を実践的に学ぶことができます。

● きめ細かな指導により 小学校教員として高い就職実績を実現

これまで約400名の卒業生（前身の児童教育学科を含む）が、小学校教員として採用され活躍しています。教師力アップをめざす学生を対象に教員採用試験に向けた小論文や面接の対策等が行われ、採用試験では高い合格率を実現しています。



詳細に付きましては、QRコードより専攻ホームページをご参照ください。



NEW

宮城学院女子大学学芸学部 英語文化コミュニケーション学科

2026年4月英語文化コミュニケーション学科が誕生します！複雑に進化を続ける現代メディア社会に必要とされる知識・スキル、AIも使いこなす対話力、そして柔軟なことばの運用力をつけるカリキュラムを作り上げました。



ホームページ
Instagram
YouTube

● 本学創立時から140年に及ぶ英語教育の実績を継承・発展

英語の聞く・話す・読む・書くの4つの技能を、レベルに合ったクラスで基礎力を養い、3、4年次でより専門的な場で通用する能力を身につけていきます。中・高教諭養成（英語）に特化した、英語技能科目も用意しています。

● 「言語文化」と「メディア文化」の2つの領域から専門性を身につける

「言語文化」領域では、音声言語から手話言語まで多様なかたちで存在する言語そのものの機能や仕組みに注目し、言語学的見地からことばの力について学び、「メディア文化」領域では、言語芸術である文学はもちろんのこと、文字言語から造形言語までの幅広い言語とその伝達に欠かせないメディア上のそれらの表現を学ぶことで、コミュニケーションの世界を広げていきます。

● 実践重視のカリキュラム

少人数制の演習科目のほか、国内外研修、地域取材、インターンシップ、留学等を通して実践経験を積んでいきます。こうしたカリキュラムを通して、人や社会と主体的に繋がることのできるコミュニケーションの回路を構築し、考えを発展的に積み上げていけるような創造的なコミュニケーション能力の育成をめざします。

取得可能な資格

中学校教員免許状【英語】、高等学校教員免許状【英語】、司書教諭・司書・学校司書、学芸員等（本学で英検対策講座やTOEIC・TOEFLの試験を受けることができます。）